

施策評価シート（平成25年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画中期プラン	政策No.	1-4	政策名	観光の振興	政策の 目指す姿	国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出しています	施策 主管課	観光課	施策主管 課長名	高橋 久雄
	施策No.	1	施策名	観光の魅力向上	施策の 目指す姿	花巻にしかない魅力ある観光地がたくさんあります	関係課名			
	現状と課題		・温泉や宮沢賢治、早池峰神楽をはじめとする豊富な観光資源を有していますが、観光客数はここ数年ほぼ横ばい傾向にあります。							

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1)観光資源の充実 ○魅力あるイベントの開催支援 ・花巻まつりなどの伝統祭事の開催のほか、宮沢賢治の生誕地である特性を活かしたイベントやはなまきBBフェアなどの新たな誘客イベントに対する支援
(2)広域観光の推進 ○平泉や遠野、沿岸地域など県内各地との連携による広域観光の推進、強化 ・花巻・遠野・平泉・釜石の3か所以上を20人以上で観光し、花巻に宿泊するツアー(クラシック街道)に郷土芸能など特典の提供に対する支援 ・SL銀河への乗客などを誘客するため、なはんプラザの壁面を利用した「銀河鉄道の夜」の上映(ファンタジックナイト)などに対する支援

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
観光施設、イベントの入場者数	観光施設・イベントに魅力を感じ訪れた観光客とし、市が管理する施設への入館者・イベントへの入場者数を指標として設定	毎月調査、報告している観光統計数値(暦年)	万人	目標値				101.5	105.0	107.5
				実績値	73.8	97.4	100.1			
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
	成果指標の「観光施設、イベントの入場者数」は、H23からH25に順調に推移しており、H23の東日本大震災により前年度より落ち込んだ観光客数も、平泉の世界遺産登録やJRグループ旅客6社と地元の観光事業者等が協働で実施する大型観光キャンペーンなどにより順調に回復したものと考えている。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	貢献度の判断理由
	事業内容(実績)			
1	観光イベント開催事業	観光課	A	伝統祭事の継続実施と集客イベントの実施により、観光誘客に貢献している。
	各地域におけるまつりやイベントの開催に対する支援 (支援イベント数:11、事業費:42,000千円)			
2-1	広域観光推進事業(クラシック街道)	観光課	B	平泉効果が薄れてきており、ツアー参加者も伸び悩んでいることから、エージェントへのPRが必要である。
	遠野・平泉・釜石と連携した特典付きツアー「クラシック街道」の実施に対する支援 (ツアー実施回数:108回、参加者:4,824人)			
2-2	広域観光推進事業(ファンタジックナイト)	観光課	C	SL銀河の運行延期により、集客数が伸びなかったことから、新たな魅力の付加が必要である。
	なはんプラザの壁面を利用した、「銀河鉄道の夜」の上映などに対する支援 (開催日:60日(12/14~2/11)、観客数:延べ6,000人)			
3	賢治のまちづくり推進事業	観光課	A	賢治生誕の地としての特色あるイベント開催により、観光誘客に貢献している。
	宮沢賢治の生誕地である特性を活かした各種イベントの開催に対する支援 (支援イベント数:3、事業費:17,300千円)			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

・広域観光推進事業の「ファンタジックナイト」については、発着時間の関係からSL銀河との連携は期待できない。ただし、イメージ戦略的には、高評価であると感じていることから、上映作品の変更や食イベントとのコラボレーションなど事業全体の再構築が必要。

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

・広域観光推進事業の「クラシック街道」については、平泉効果が薄れてきていることから、ツアー参加者が減少している。今後、震災関連で沿岸市町村、産業観光としての北上市などとの連携を検討することが必要。

(新たに取り組むべき事業はないか)

・観光資源の有効な活用を図るため、観光客の意識・ニーズの把握を行うことが必要。

6 施策の総合的な評価

(課題)

・観光客の意識・ニーズ・動向を捉え、観光資源を十分に活用することが必要。
・広域観光を推進する上で、他市町村との連携強化が必要。

(今後の方向性)

・観光客満足度の向上を図るため、観光客の意識・ニーズ調査を早急に実施する。
・広域観光推進に向け、他市町村との連携強化のため、情報交換や勉強会の開催を検討する。